

第46回新発田市入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和元年6月12日（水）新発田市役所5階 会議室501	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・議事 <p style="margin-left: 40px;">(1) 抽出工事等の審議について</p> <p style="margin-left: 40px;">(2) 第47回委員会開催に伴う抽出委員の指定について</p> <p style="margin-left: 40px;">(3) その他</p>	
委 員 (委員数5名) (出席数5名)	<p>委員長 八木 庸一 (税理士) (出席)</p> <p>委員 氏家 信彦 (弁護士) (出席)</p> <p>委員 藤本 晃嗣 (大学教員) (出席)</p> <p>委員 村田 俊一 (公募委員) (出席)</p> <p>委員 時津 聖子 (公募委員) (出席)</p>	
審議対象期間	平成31年1月1日～平成31年4月30日	
抽出案件	6件（対象工事総件数19件）	
制限付 一般競争入札	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・教エア第1号 小・中学校普通教室等エアコン整備（その1）工事 ・教エア第2号 小・中学校普通教室等エアコン整備（その2）工事 ・教エア第3号 小・中学校普通教室等エアコン整備（その3）工事 ・教エア第5号 小・中学校普通教室等エアコン整備（その5）工事 ・教エア第7号 小・中学校普通教室等エアコン整備（その7）工事
公募型 指名競争入札	0件	
通常 指名競争入札	0件	
随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・環補第1号 旧新潟製油新発田鉱山R8号井封鎖事業に伴う事前調査工事
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申内容	特になし	
その他	傍聴者2名	

意見・質問	回答
<p>・特定共同企業体とした理由は何か。</p> <p>・特定共同企業体を構成する企業間の資本関係、人的関係も確認するのか。</p> <p>・エアコン設置工事は、その1から8まであるが、予定価格が同等となるようにしたのか。</p> <p>・ガス式エアコン、電気式エアコンで比較検証したのか。</p> <p>・落札率が高いが、なぜか。</p> <p>・辞退の理由は何か。</p> <p>(2) 第47回委員会開催に伴う抽出委員の指定について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>	<p>・新発田市特定共同企業体運用基準に則り、特定共同企業体での発注工事とした。</p> <p>・そのとおり。</p> <p>・管工事4件、電気工事4件とし、管工事はガス式エアコン、電気工事は電気式エアコンの設置工事である。 都市ガスの供給地域、機器代、ランニングコスト等を考慮して、ガス式と電気式に分けた。</p> <p>・期間を20年とし、比較検討した。その結果、2校は、都市ガス供給地域でも電気式エアコンを選択した。</p> <p>・参考資料にもあるが、管工事、電気工事はその他の工種よりも高い傾向にある。 エアコンの設置工事では、直接工事費の約6割が機器代となっており、土木一式工事のように標準単価があるわけではなく、機器代が占める割合が高い。</p> <p>・特定共同企業体の入札案件で、複数件落札することもあるが、今回は早くしゅん工させるためにも、1抜け方式を採用した。 1抜け方式とは、開札は工事番号の若い順に行い、落札候補者となった特定共同企業体はそれ以降の案件は辞退扱いとなる。</p> <p>・次回は現委員の任期満了後の開催となるため、抽出委員の指定は事務局に一任する。</p> <p>・なし</p>